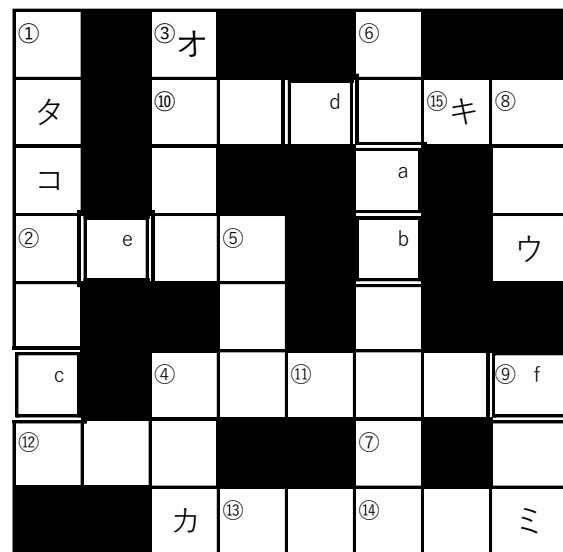
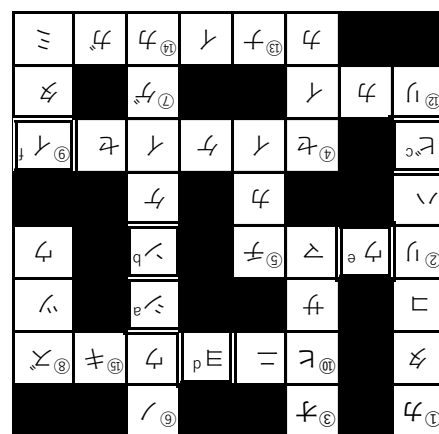
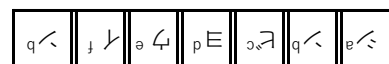




- ♪フレイクタイム♪クロスワードパズル
- たて
- ①同じ姿勢でいることで起こる症状です。
 ②当院の診療科の一つ。運動療法や物理療法を実施します。
 ③この光を浴びると骨が丈夫になると言われています。
 ④「結果」と同意義の言葉。
 ⑤当院は浜川駅から徒歩で約3分。駅から〇〇〇
 ⑥当院の診療科の一つ。頭痛やめまいなどがある方はご相談ください。
 ⑦当院の診療科の一つ。切り傷の縫合などを行います。
 ⑧頭が痛いこと。
 ⑨骨折や傷などで現れる症状。

答え



関口病院の歴史 ～昭和から令和へ～

昭和11年10月 外科・泌尿器科
関口診療所（東京新宿区）開設
院長 関口 恒五郎

昭和18年5月 渋川市新町にて
「関口外科医院」開設。関口恒五郎院長

昭和22年7月 渋川市辰巳町に移転開設。
（※¹大きな松の木がシンボルでした）

昭和41年2月 地下1F、4階建てで新築、
「関口病院」となる。ベッド数117床の
救急指定病院として、地域医療に貢献し
ていく。

後に改装した※²外壁のタイルは、恒五郎院長の
こだわりで前橋群馬ロイヤルホテルと同じデザインにされた
そうです。

昭和63年4月
「医療法人恒和会関口病院」と改める。
同年11月、関口欽五郎院長就任。

平成27年 関口浩五郎院長就任。
通院が困難な患者様に対応するため、
平成31年4月 訪問看護ステーションと
在宅診療部門を立ち上げる。

令和4年6月 新病院開院予定。

長い歴史（86年）のもと、掲げてきた
病院理念をご紹介します。

～病院理念～

誠意ある最良の医療を通して、地域住民の
健康と心の支えとなり、地域社会より信頼される病院
を目指します。



〈※¹開院当時の関口外科医院〉



〈恒五郎院長〉



〈欽五郎院長〉



※²1980年代の関口病院〉



〈浩五郎院長〉

医療安全の取り組み

医療の安全対策の第一歩は重大事故につながらないよう、日ごろの職員の意識が大切になります。そのため、職員は院内で起こったヒヤリとした事、ハッとした事を些細なことでも「医療安全委員会」に報告し、またそれを全職員で共有し、対策を立てて同じようなことを繰り返さないように話し合い、意識を高めています。また、医療安全管理者（院長）が中心となり、医療安全委員会メンバーで定期的に院内巡回を行い、現場の実態を把握して、業務改善に努めています。

たとえば・・・

☆入院患者様の転倒防止：入院時に患者さま一人ひとりの危険度を確認しご家族に説明させていただき入院中の転倒防止管理を行っています。



皆様のご協力あつての
医療安全です！

☆お名前の確認：外来、病棟ともに患者様に苗字とお名前を名乗っていただき、間違いのないよう、ご協力をいただいております。



新病院でも継続して、より高い意識向上に向け、研修会なども積極的に行い安全文化の育成に努めて参ります。

いよいよ新病院完成！

☆1階受付ロビーは吹き抜けで開放感のあるスペースとなります。

☆電子カルテ、再診受付機、自動支払機を導入します。

☆救急入り口は、現在の病院西側道路から、南側の私道に変わり、安全性を確保しました。

☆5階のリハビリスペースは広くなり、伸び伸びとした屋外リハビリスペースを設置します。

☆子育て支援設備の充実で授乳室も完備します。

☆二期工事では、病院に隣接した車寄せの設置と駐車場を完備します

